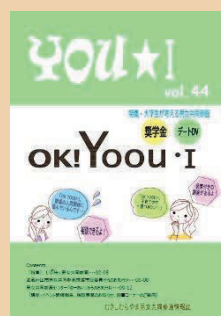
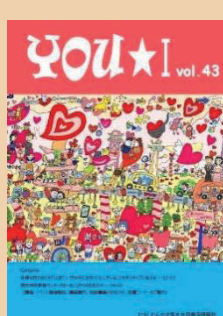
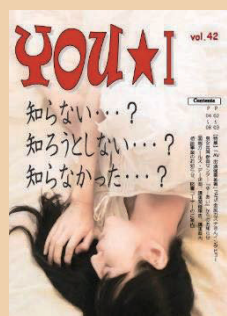
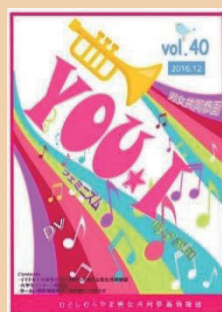
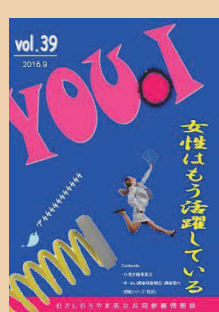
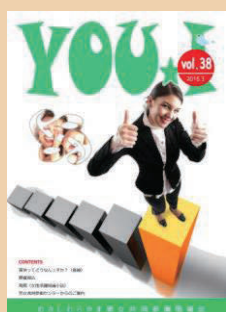
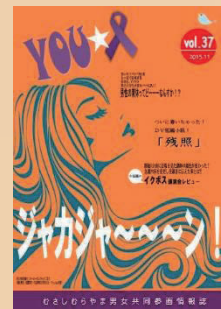
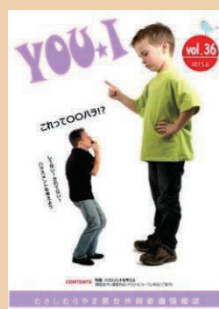


YOU★I Vol.46.47



Contents

- (特集) シングルマザー当事者にきく
- 武蔵村山市男女共同参画YOU★I フォーラム開催報告
- Did you know?
- 起業という選択～私の起業vol.2 インタビュー
- 緑が丘ふれあいセンター5年のあゆみ (概要、事業報告)
- 男女共同参画センター「ゆーあい」からのお知らせ (講座開催報告、相談事業、図書のお知らせ 図書コーナーのご案内)

特集 シングルマザー「当事者」にきく

私たちは支援団体ではなく
当事者団体—篠原輝美—



男女共同参画センターゆーあいでは、2017年よりシングルマザー・離婚を考えている人を対象に、シングルマザー茶話会、シングルマザー応援フェスタを開催しています。その中で、講師などで協力をしていただいている、立川市ひとり親の会「立川みらい」代表の篠原輝美さんにお話を伺いました。

立川みらいの成り立ちと活動

昭和34年4月1日に当時の会（立川市母子寡婦福祉協議会）が発足し、その後法改正を経て名称が変わり現在の立川市ひとり親家庭福祉会「立川みらい」となりました。2020年に60周年を迎えます。

現在80世帯弱のひとり親の会員ファミリーが参加しています。私たちは当事者団体なので、基本は「自助・共助・扶助」です。同じ立場で子育てをしながら、会の運営に尽力してもらっています。

会の主な活動は立川市子ども家庭支援センター共催の「ひとり親のおしゃべりカフェ」、キャリアアシストさん共催の「立川みらい塾」、その他BBQやクリスマス会などの交流会やセミナーなど幅広く行っています。

「ひとり親」という看板があるので、みんな前フリなしですぐ話ができる。そして、それぞれ何かしら経験しているので、悩みや不安の共有もできるし、逆に若い人達は情報収集が早い人もいて、仲間に回してくれたりします。和気あいあいと親戚同士のように楽しく活動しています。

武蔵村山市でも

2年前、男女共同参画センターゆーあい主催の「シングルマザー応援フェスタ」に講師として声をかけてもらったことがきっかけで「シングルマザーのおしゃべりカフェ@武蔵村山」の話し手としてもお世話になっています。



ジョンソン・アンド・ジョンソン社会貢献委員会から提供されたスーツを熱心に見ている参加者たち

昨年12月16日にふれあいセンターで行われた『第2回シングルマザー応援フェスタ』は、無料弁護士相談や面会交流セミナー、資生堂さんによる身だしなみメイクセミナー、スーツドライブ、親子で楽しめる移動プラネタリウムにワークシヨップなど、盛りだくさんの内容でした。約30組の親子に参加していただき、開始から最後までとても活気がありました。飲食コーナーでは参加者同士情報交換もされていて、いい交流の場にもなっていました。

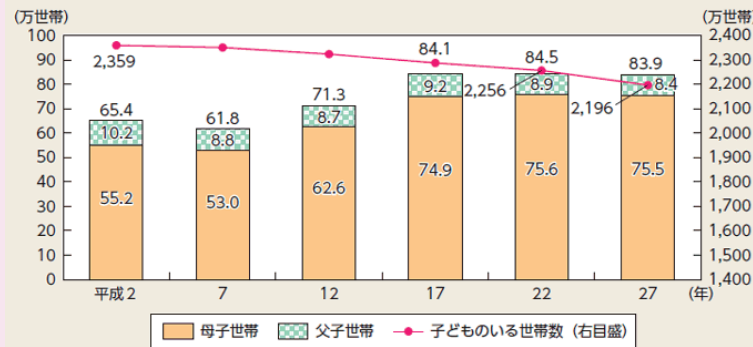
日本の人口の2%弱のシングルマザー
平成28年度の厚労省の発表によると、母子家庭の数は123.2万世帯、父子世帯数は18.7万世帯。単純に子ども一人の世帯と考えても日本の人口1億268万人の中で占める割合はざっくり2%弱。シングルマザー、ひとり親、そんな言葉も右肩上がりに増えていく中でも、やっぱりマイノリティです。

子どもの相対的貧困率が6人に1人（2012年データ）と言われて騒がれ、その大部分がひとり親家庭ということで母子家庭に注目が集まったのはご存知の通り。父子家庭になったとしても身内の支援が得られない家庭は、非正規雇用にならざるを得なかったりして、父子家庭も困窮している家庭が増えていきます。いくら相対的貧困率が7人に1人（2015年データ）になったと言っても、ひとり親の生活の何が変わったのか実感はありません。

働き方改革と言われても、大手の企業に正規雇用されているか公務員（またはかなり理解のある職場）でなければ何のこと??です。

自分らしい生き方、働き方改革、多様性社会、素敵な言葉はキラキラ輝いているけど、苦しいと感じる方の数は減るどころか増えている気がします。それでも私がひとり親になってか

母子世帯数及び父子世帯数の推移



(出典) 男女共同参画白書平成29年度版

いろんな手続きをするのにあちこち行かなくてはならないうえに、情報を取るのが苦手な人や、そこまで気が回っていない人ならばいろんな事が漏れ落ちてしまう。

そして離婚前後の不安と過度のストレス。私で言えば自分自身が心身ともにボロボロで、子どものメンタルケアまで手が回らず、子どもに対して可哀そうな事をしたと思います。円満とまでいかなくてもきちんとして離婚が出来ていれば良いのですが、なかなかそうもいかない。死別の方にしたっては大きな喪失感もあったりするのて本当にきつい。共感をしてくれる場所探し、当事者団体ってなかなか見つからないけれど、今はツナガル場が増えてきています。ネットでもなんでも、自分の使い勝手の良い、無理をしなくても良い場所を探してツナガル場所を見つけてもらいたいと思います。互いに語り合える場所は心の回復にもなりますから。それは親だけでなく子ども達にとってもプラスになっていきます。

最後に...

困った時、近くに仲間がいるのは心強いです。病気をしたりして頼る人がいなければ、代わりに買い物して

くれたり、時には少しの間子どもを預かってもらったり。みんながどうかはそこまで詳しく聞きませんが、会で知り合った親子で遊びに行ったりしているようです。

よく必要なものは何かと聞かれますが、経済的な物を除いたなら、繋がりたいと思います。私は離婚したばかりの時、頼れる人がいなくて、子どもとよく泣いていました。先の見えないう恐怖と孤独。これってひとり親だけではなく、困難を抱えている人には共通ではないかと思うんです。ですから、必要であればいつでも来てほしい。親子二人でご飯を食べるのもいいけど、みんなと食べるのも楽しいから。武蔵村山市でもおしゃべりカフェをきっかけにみんなと支え合うようなグループができるといいなと思います。話し手として参加しているので気軽に参加してみてください。



篠原輝美氏
立川市ひとり親家庭福祉会
立川みらい7年前より会長

武蔵村山市男女共同参画 YOU・Iフォーラムを開催しました

第19回YOU・Iフォーラム
世界から学ぶ人生
100年時代を『幸せ』
に生きる知恵
講師：大崎麻子氏
(関西学院大学客員教授)
日時：2019年1月20日(日)
14時～15時30分
参加者：92人



1月20日曜日。国連職員として世界の女性支援に関わってきたジェンダー専門家でもあり、テレビのコメンテーターとしても活躍する大崎麻子さんを講師にお迎えし、第19回YOU・Iフォーラムを開催しました。

「人生100年時代を『幸せ』に生きる知恵」と題して、国連勤務時代に経験したエピソードから、国際社会共通の目標・課題とされているジェンダー平等、女性のエンパワーメントなどについて分かりやすく教えていただきました。世界の女の子や女性の置かれている環境・現状や2011年の東日本大震災後の復興支援の話など、多岐にわたる内容でした。

お話のポイント①人間開発

国連開発機関であるUNDPでは1990年以降、『ひとりひとりの人間が、持つて生まれた可能性を開花させ、社会の一員として尊厳のある人生を生きられるようにすること。そのために必要な環境を創ること』を目的とする人間開発の考え方が取り入れられるようになり、そのためには人々が健康で長生きをし、必



講演会の様子

要な知識を獲得し、適正な生活水準を保つための所得を確保し、地域社会において活動に参加することが必要であること。

お話のポイント②

ジェンダー平等とエンパワーメント
国際社会共通の目標である「ジェンダー平等」と「女性のエンパワーメント」

◆ジェンダー平等(男女共同参画)
Ⅱ男性と女性が等しく権利、機会、責任を持ち、意思決定にも対等に参画すること。

◆女性のエンパワーメント
(女性の地位向上・女性活躍)Ⅱ人生や日常におけるあらゆる選択肢

市長、教育長をはじめ多くの市民の方々に参加いただきました。今回のYOU・Iフォーラムでは、日本のみならずグローバルな視点で物事を考えること、そして今後の自分の生き方を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



講演終了後の書籍販売の様子

を自分の意思で選び取って生きていくための力をつけること。男性と対等に意思決定に参加するために必要な力を身につけること。

お話のポイント③
自分らしく、幸せに生きるために

◆自分で「決める」こと

◆周囲の声を「聞き流す」こと

◆「受援力」(注1)を身につけること
◆「繋がって」変えていくこと

自分で考え、決めることで主体的に生き、困った時には誰かに助けを求めたり、回復できる力(レジリエンス)も持つこと。

(注1)受援力とは助けを受け入れ人に頼ることが出来る力のこと

最後、時間の関係で駆け足になってしまいましたが、有償ワーク(仕事)・無償ワーク(ケアワーク、家事など)・ボランティアや地域活動・創造的な活動(趣味や学び)、この4種をバランスよく保つことが重要であると話された大崎さん。用意してあった2種類のワークシート(現在と10年後のわたしのライフワーク)は各自持ち帰りになりましたが、このシートでまずは現状を可視化でき、3年、5年、10年と長期的視野でライフワークを考える機会になったと思います。

(参加者の声)

- ・女性の意識改革がいかに大切かということをつくづく考えさせられました。
- ・80近くになりますが、今後の生き方に勇気もらいました。
- ・自分で決めて生きていく、主体的に生きるのがまだ弱いなと自覚しました。
- ・日頃考えていることと同じことが訊けて、再認識すると共に力が湧いてきました。



センタースタッフとの集合写真

Profile お菓子Labo ふたりしまい



お菓子作りが好きな姉と珈琲を淹れるのが好きな妹。
平成17年に東大和にお菓子工房ドゥー・ブティック・スールを開店。
それぞれ結婚・出産を経て、現在、武蔵村山の自宅を改装して工房一体型店舗お菓子Labo「ふたりしまい」を平成28年にオープン。
以来、多くのお客様にケーキ、菓子、パンなどを提供。国産小麦粉、身体に優しい甜菜糖を主原料とし、日々美味しい食を研究している。
店舗内にはイートインコーナーもあり、淹れたてのコーヒーもいただける。
♥今号ではふたりしまいの姉、峯岸さんにお話を伺いました！

起業という選択～私の起業vol.2～



“私たちがらしき”のお菓子作りを
追求する研究所

起業のきっかけと経緯は？

幼い頃からお菓子作りが好きで、菓子職人になるために都内数件で修業を重ねた後、フランスへ単身修行に行きました。

妹は昔から私が作るお菓子を食べるのが好きで味見役をしてもらっていました。彼女は懸賞シール集めがきっかけで苦手の缶コーヒーを飲み続けていたのですが、ある時『もっと美味しいコーヒーを飲みたい』と、新鮮な珈琲豆のハンドドリップの珈琲に出会いました。その美味しさに感動を覚え、喫茶店で働き始めた後、一緒にお店をやろうということになりました。

他社との違いやお店をやっていく上で工夫していることは？

体に優しく、たくさん気兼ねなくお菓子を食べたいという方や、小さなお子様のために卵・牛乳・バターを使用しない代わりに、良質な豆乳、なたね油、アーモンドなどで作るお菓子を提供しています。

私たちが仕事をするという事は、「家族の協力」があつてこそなので、家族を守りながら、子どもたちを見守りながら歩幅を合わせて日々の生活と上手にリンクしながら仕事をするように心掛けています。

起業したからこそその喜び、そして今後の目標を教えてください

厳選した素材で自分たちのお菓子を作りたい！食べてもらいたい！というお菓子づくりを通じて、色々な人たちと繋がることができ、「美味しい」、「また来るね」と言葉を頂けることは作り手にとってこの上ない幸せを感じます。

いつまでも、初めて作ったお菓子の感動を忘れることなく、自分たちの子どもそして自分たちも“安心・安全な『食』を食べるのだ！作るのだ！”という事を念頭に置きながらお客様に喜んでいただけるお菓子でありたいと思います。

「好き」とことん追求しているふたりしまいさん。伝手もないのに単身フランス留学するその一途さはすごい！の一言です。
これからたくさんの方に喜ばれるお菓子作りを期待しています。ありがとうございました。



ジェンダーギャップ指数

各国の社会進出における男女格差を示す指標。世界経済フォーラムが毎年公表しているもので、経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出される。

(表1)

順位	国・地域名	男女格差指数
1	アイスランド	0.858
2	ノルウェー	0.835
3	スウェーデン	0.822
4	フィンランド	0.821
⋮	⋮	⋮
12	フランス	0.779
⋮	⋮	⋮
51	アメリカ	0.720
⋮	⋮	⋮
110	日本	0.662

世界経済フォーラム(WEF)による男女格差の度合いを示す「グローバル・ジェンダー・ギャップ指数」2018年版が2018年12月18日に発表されました。調査対象となった149カ国のうち、日本は110位(スコア0.662)でした。

このランキングは、政治、経済、教育、保健の4分野14項目を数値化したもので、0が完全不平等、1が完全平等を意味しています。

1位はアイスランド、2位はノルウェー、4位のフィンランドまで北欧諸国が並びます(表1参照)。1位のアイスランドは10年連続でトップをキープしています。日本は前年の114位から4つ順位を上げましたが(表2参照)日米欧の先進7か国では最下位で、依然として男女平等が進んでいない国の1つと指摘されています。

分野別では、日本は教育が65位、保健が41位となっているものの、女性議員や閣僚の少なさから政治が125位、女性管理職の少なさなどから経済が117位と(表3参照)経済・政治分野で女性の進出が進んでいない状況です。

(表2)

年	順位
2012	101
2013	105
2014	104
2015	101
2016	111
2017	114
2018	110

(表3)

分野	順位	値
教育	65	0.994
保健	41	0.979
政治	125	0.081
経済	117	0.595

男女間の格差を解消するためには「男性は仕事、女性は家事・育児」のような固定的な性別役割分担意識を変え、仕事も家庭もバランスよく参画できるような環境整備が必要です。「女性活躍推進法」や「政治分野における男女共同参画推進法」の制定などの取り組みが行われていますが、今後はこれまで以上に女性の参画を推進するための取り組みが必要です。



緑が丘ふれあいセンター 5年間のあゆみ

平成26年4月より緑が丘ふれあいセンターの指定管理者として「ダイバーシティコミュ・東建社グループ」が管理運営を行ってまいりました。「地域で生きる機会を創る世代を繋ぐ」を軸に様々な事業展開をし、多くの方々と繋がりを創ることができました。

ふれあいセンターの概要と平成26年から平成30年3月までの5年間の事業を報告します。



武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター概要

施設名及び所在地	武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター （緑が丘コミュニティセンター、男女共同参画センターゆーあい、第一老人福祉館）		武蔵村山市緑が丘 1460-1111-1 ☎042-590-0755
設置目的	市民の学習及び集会の用に供し、並びに男女共同参画社会の形成の促進及び老人福祉の増進を図ることを目的とする。		
運営	ダイバーシティコミュ・東建社グループ		
センター長	森林育代		
副センター長	清野智美	島津恵子	
開館時間	午前9時～午後10時		
休館日	毎月第一月曜日及び年末年始		
施設内容	緑が丘コミュニティセンター	多目的ホール1・2、会議室1・2、学習室、和室、研修室、主催者控室、倉庫、給湯室	
	男女共同参画センターゆーあい	多目的室1・2、学習室、相談室、情報コーナー、倉庫、給湯室	
	第一老人福祉館	機能訓練室、会議室、相談室、和室1・2、茶室、休憩室、女子トイレ、男子トイレ、だれでもトイレ、倉庫、給湯室	
	共有部分	管理事務室、保育室、複合機・水飲み場コーナー、電気室、倉庫、印刷室、女子トイレ、男子トイレ、だれでもトイレ、中庭	

(配置図)



(H26年～H30年各館別利用人数)

	利用人数(人)			
	緑が丘 コミュニティ センター	男女共同参画 センター	第一老人 福祉館	合 計
H26年	53,834	7,790	23,594	85,218
H27年	53,231	9,275	25,465	87,971
H28年	59,624	16,535	29,350	105,509
H29年	58,605	17,933	27,025	103,563
H30年	58,055	17,434	24,199	99,688 (2月末)
登録 団体数	378団体		67団体	



学

ぶ

女性・男性・若年層支援、ワーク・ライフ・バランス等講座やイベントを開催



男女共同参画センターゆーあいの事業は「学ぶ」「集う」「知る」「相談する」の4本柱で構成されています。男女共同参画社会形成推進のため市民の皆様にも多角的に展開しています。

女性起業家講座や女性のための健康ヨガセミナー、ベビーマッサージ、パパと子どもの料理教室、映画上映会など様々な講座を開催

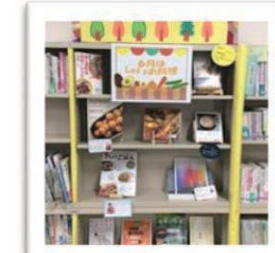


知

る

毎月テーマを決めて特設コーナーにて図書案内

情報誌YOU・Iの発行図書閲覧・貸出し、ロビー展示、ホームページでの情報発信



隔月でテーマを決めパネル展を開催

情報誌の発行

講座・イベント参加数

	年間講座件数	講座参加人数
H26年	76件	3,677人
H27年	45件	3,862人
H28年	48件	3,717人
H29年	41件	4,771人
H30年	36件	3,680人



	貸出冊数
H26年	419
H27年	433
H28年	384
H29年	303

2019

(H31)

2018

(H30)

2017

(H29)

年間利用者数延べ10万人突破



2016

(H28)

2015

(H27)

2014

(H26)

2006

(H18)

◆3月ダイバーシティコミュニケーション・東建社グループ指定管理業務終了※4月よりシースプレイス・東建社グループへ引き継ぎ

◆2019年指定管理者募集・決定

◆中学生職場体験受け入れスタート
◆シングルマザー応援フェスタ開催

◆公共施設予約システム導入
◆ふれあいセンター・団体の連絡協議会スタート

◆ウイメンズチャレンジプロジェクトスタート

◆4月〜ダイバーシティコミュニケーション・東建社グループ指定管理開始
◆センター認知度アップのため、イオンモールなど外部施設にてイベント開催
◆情報誌YOU・Iを市内全戸配布開始
◆大学生インターシップ導入

～

2014年3月にて終了

◆9月開館 特定非営利活動法人女性フォーラム結が指定管理開始

講座開催報告

アロマでセルフケア ～あなたらしく生きる～

2019.3.12 ママのためのわいわいカフェ。

「アロマでセルフケア～あなたらしく生きる～」を開催しました。「自分らしさって何だろう？」

「ストレスについて考えてみる」・・・

講座の中で、心に残る言葉はいくつもありましたが、特に印象に残ったのは、アロマというツールは、あくまでも「道具」であり、それを使いこなすのは「自分」であるということ。「なんとなく」使ったものは、「なんとなく」しか効果がない、という言葉。

必要な言葉や物は人それぞれ。参加されたみなさんにとって、自分らしさ・歩んでいきたい方向が見つかったのではないのでしょうか。

講師のサトウヒロコさん



講座の様子

参加された皆さんの感想

・同世代の同じ子育て環境でも、感じ方が違うと気づけた

・問題を解決していける気がする

・目の前しか見えていなかったが、先も見えていこうと思った

講座の様子



起業のたね+ プチ起業フェスタ

2019.3.10 「プチ起業フェスタ」を開催しました。

今回はハンドメイド作家さんのためのブラッシュアップ講座「起業のたね」+プチ起業フェスタ。「起業のたね」では、自分自身・商品のブランド化、商品の撮影方法、ディスプレイ方法、お金の調達の仕方など、目からうろこの内容ばかり。

プチ起業フェスタ当日は、4回連続講座を経ての開催、出店だったので、過去開催されたもののプチ起業フェスタよりもディスプレイでどう商品を魅せるかというPR力がいかされ、各ブースとも世界観がしっかりと仕上がっていました。

全体を通して、自分自身の目指す方向、アピール力、創業に関する知識が身に付き、同じような境遇の人との出会いによる繋がりや情報交換により創業への意欲や土台をつくることが出来たと思います。ここで出会ったメンバー同士でのイベント企画や出店依頼なども始まっていて、講座で得たものを活かす動きが早速見受けられました！今後の皆さんの活躍が楽しみです！



最終日に参加者全員で

参加された皆さんの感想

・人生を再設計するきっかけになった

・少しだけ今後の人生がみえた

・とにかく自分でやってみる！ことしかないということを身に染みて感じた

・どんどん妄想していきたいです！

YOU・I フォーラム

	講師	演題	参加者数
H26年	東小雪氏	多様な家族のカたち 同性パートナーとの暮らしから見えること	65人
H27年	山口香氏	強さは優しさ 柔道から学んだこと	92人
H28年	水無田 気流氏	「居場所」のない男、 「時間」がない女	74人
H29年	山崎亮氏	誰もがその人らしく 活躍できるコミュニ ティづくり	44人
H30年	大崎麻子氏	世界から学ぶ人生 100年時代を 「幸せ」に生きる知恵	92人

YOU・Iフォーラムやふれあいセンターフェスティバル、ゆーあいサロンなどの交流事業



老人福祉館納涼大会



ふれあいセンター
フェスティバル



近隣4棟と合同消防訓練
を開催

そ の 他

相談 する

中学生の職場体験や大学生インターンシップ、社会復帰の一步となるママインターン、保育インターン、ボランティアスタッフ募集などにより、ふれあいセンターの運営にかかわる人材を育成。



近隣小学校の見学受け入れ



サマーフェスティ
バルにてアシスタ
ントをする中学生
ボランティア

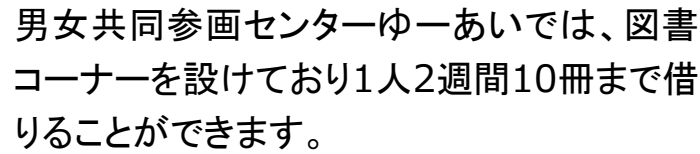


納涼大会の運営アシスタ
ントをつとめる大学生イン
ターン

男性・女性相談員によるなやみごと相談（一般相談）、女性弁護士による法律相談

	一般相談 件数	法律相談 件数
H26年 48件	15	33
H27年 72件	18	54
H28年 44件	14	30
H29年 71件	31	40
H30年 51件	20	31

図書コーナーのご案内



相談のご案内

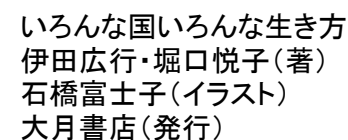
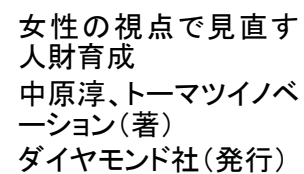
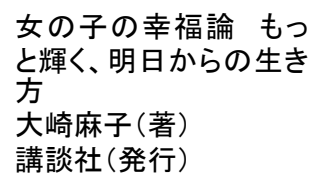
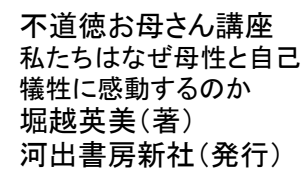
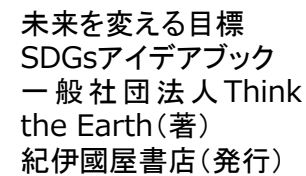
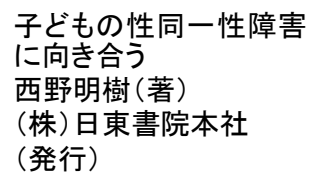
- ・夫の暴力に悩んでいる
- ・仕事が長続きしない
- ・気持ちが落ち着かず毎日起きる
のが辛い
- ・離婚したいけど…どうしていい
かわからない
- ・相談する人が周りにいない

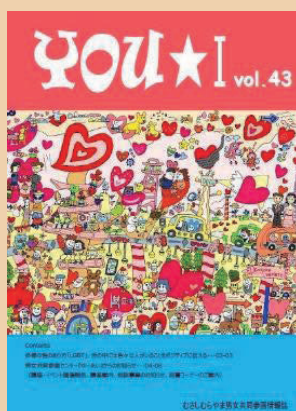
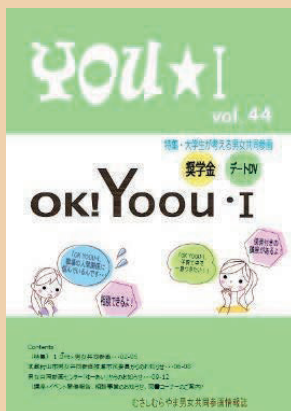
ご自身のこと、家族のこと、友人関係、職場関係など悩んでいることはありませんか。
専門の相談員がお話をうかがいます。お気軽にお問合せください。



◆毎月第2土曜日午後2時～4時
◆ひとり40分

悩んでいませんか？





33号～45号まで絶賛発行中!! 続きはWEBで!



FOLLOW US ON



Web Page

<http://www.fureai-diversity.com/>



Instagram



https://www.instagram.com/you_i.fureaicenter/?hl=ja



facebook



<https://www.facebook.com/furesen/>



LINE@



<https://line.me/R/ti/p/%40wwwk2232u>



twitter



<https://twitter.com/fureaicenter>

発行 年月 2019年3月

編集・発行 武蔵村山市男女共同参画センター「ゆーあい」(武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター)

所 在 地 〒208-0012 東京都武蔵村山市1460-1111-1

TEL 042-590-0755 Mail fureai@diversitycommu.jp



ダイバーシティコミュ・東建社グループが指定管理者制度により管理運営を行っています。

